

松山市タンデム自転車交流補助金事業

第12回サイクルチャレンジ2026 in 競輪場



パッチ・アダムス・プロジェクト
タンデム自転車で始まる人生喜ばせごっこ
愛と笑顔はこの世の通行手形



タンデム自転車NONちゃん倶楽部

松山市タンデム自転車交流補助金事業

サイクルチャレンジ2026 in 競輪場（第12回）

2026年09月06日（日）10：00～15：00

・主催 認定NPO法人タンデム自転車NONちゃん倶楽部

・共催 名輪会 伊藤豊明 ・日本競輪選手会愛媛支部

・後援 ・松山市タンデム自転車交流事業

参加者 ・視覚5 ・肢体9 ・知的17 ・ダウン3 ・精神1 ・家族51 ・計86

ボランティア69 ・松山聖陵高校自転車競技部15 ・競輪選手4 ・合計174名



★今年のテーマ★

パッチ・アダムス・プロジェクト 挑戦への扉

タンデム自転車で始まる人生喜ばせごっこ

愛と笑顔はこの世の通行手形



2014年からスタートしたこの事業も、今回12回目の開催となりました。「晴れましたありがとうございます」で突っ走ってきた16年。天気予報が迷走する中、今年各地で起きている大雨被害に心痛め、初めて朝6時の時点で警報が出たら中止というメールを入れたのですが、天候にも恵まれて無事終えることが出来ました。お天道様ありがとうございます！



★呼吸器装着トレーラーでバンク走行大成功

四国中央市から呼吸器を必要とする直樹くんが初参加。梅澤さんが短時間でトレーラーの改修をしてくださっての受け入れ大成功！！広島からの康介君・今日誕生日の恒輔君・トレーラー開発の火付け役楓雅君の4名ともにバンクを走る姿に涙腺崩壊。ビーチスターや高機能三輪自転車でも楽しむことができました。



★タンデムスプリント体験

丸紅さんの助成金（2020年）で購入できたタンデムトラックバイク（競技用でブレーキなし）。身近に競輪場があるため、いつ候補者が現れても大丈夫というツール。現役競輪選手のパイロットで何人もの挑戦ができました。バンクの傾斜を走行体験できるなどと夢のようだと興奮冷めやらぬ表情で喜びの報告を受けました。



★大翔君のパイロット候補

佐々木（全盲）さんとのトライアスロンガイド役を引き受けてくださっている浅井さんが、大翔君のパイロット志願してくださり、バンクを50分以上走る姿に感動。刺激を受けて梨乃ちゃんパパもチャレンジするという流れに、人の輪のロマンを噛み締めました。



参加者の声

★サイクルハウス・ウエスタン河井芳喜さん（カメラ班）

「2026タンデムNONちゃん」なんと雨予報が好天にめぐまれ今年もパワーアップして開催できました。理事長津賀さんの身を削りながらの情熱は凄すぎて衰える事を知らないようです。しかしこんな事を続けれるのは心のきれいな人たちが居るからです。競輪選手とOBさん、聖稜自転車部員、公務員会社員、一般主婦、教員、など多くのボランティアさんが来てくれるのも津賀さんの情熱でしょう！

ウエスタンGGィは杖をつきながら写真を撮って遊ばしてもらっているようなものですから、とにかく真似ができるならやってみいと言いたくなるような、凄い事を松山から発信している「タンデム自転車NONちゃん倶楽部」です。おつかれさまでした



★パイロット 本田伸二さん（パイロットボランティア歴16年）

今回は石鎚山ヒルクライムと重なりパイロットが少ない中、また午後から雨かもと懸念があったがそこはNONちゃん倶楽部、雨は降しません。いつもの人、はじめての人皆一緒になって競輪場を何周も何周も周回。ただそれだけですが、みんな一緒に走ることでタンデム自転車ならではの一体感を感じます



★県庁サイクリングチーム パイロット 和田忍さん

タンデム自転車NONちゃん倶楽部の恒例イベント、

台風と秋雨前線の影響で一日中雨予報でしたが、青空も覗く涼しい曇り空でした。改修で綺麗になってオールスター競輪後の滑らかなコースで、高校生の模擬競輪を観て、タンデム自転車を楽しみました。

屋内では各種ゲームもあり、参加の障がいのある方とその家族、ボランティアの我々共々楽しい一日を過ごしました。参加者174人

1996年に制作された四国地区の競輪PRテレビCMについて通称「ぴよぴよダンス」松山競輪場でのオールスター競輪の開催にあわせて、復刻CMの概要歌詞：「♪ごめんなさ〜いね〜ごめんなさ〜いね〜あなたの予想にそえなくて〜♪」

内容：ファンや車券を買ってくれた人の期待（予想）に応えられなかったことを、現役のプロ競輪選手たちが自ら歌ってコミカルに謝る自虐的な内容
受賞歴：あまりの出来栄えと話題性から、第36回ACC CMフェスティバルの地域テレビCM部門で「ACC賞」を受賞 出演：四国の名選手たち当時、四国各県を代表する現役のトップレーサー4名が出演なお、伊藤豊明さんについては、本日もご実演！

馬場圭一さん（香川・リーダー格、一番ダンスのステップのリズムが良かったため先頭に抜擢）伊藤豊明さん（愛媛）山本剛さん（高知）川口秀人選手（徳島） 以上、諸々参考にしましたが、ちょっと長かったかなあ...

★瀬野百里香（身体・療育）ちゃん

今日はありがとうございました。津賀さんとタンデム自転車に乗れて嬉しかったです。暑い日が続きますが体調に気をつけてください。津賀さん大好きです。津賀さん家でゆっくり休んでくださいね。



★家族：瀬野貴美枝さん

昨日もありがとうございました！開会式で津賀さんが、「みんなにお願いがあります」とお話しされ、自転車に乗るときは「お願いします」降りるときは「ありがとうございました」と言いましょう、と。この言葉、とても大切だなと思いました。

ハンディがあろうが、なかろうが、人は一人では生きていけません。

誰かに助けてもらったり、誰かを助けたり。ハンディがあると、もしかしたら人に助けてもらうことが多いかもしれません。でも、助けてもらうことは決して悪いことではない。人をお願いすることも、悪いことではない。だからこそ、「お願いします」と「ありがとう」は忘れてはいけないだと思います。昨日のイベントは、たくさんの「ありがとう」であふれていたように感じました。

まずは、お天気。台風が来ていて、雨予報だったのに 一滴の雨も降らず。これはもう……「神様、ありがとう！」です

そして、毎回、津賀さんをはじめ スタッフの皆さん、ボランティアの皆さんに「ありがとう」笑顔があふれ、笑い声の絶えないイベントに 参加させてもらえたことに「ありがとう」そして、よくよく考えてみると……

タンデム自転車のイベントに参加していなければ、風を切って走る自転車に、補助輪なしで乗る娘の姿を見ることは できなかったと思います。

娘にそんな経験をさせてくれたこと。本当に、本当に「ありがとう」です。

そして、津賀さんがいつもおっしゃっている「できないとあきらめるのではなく、できる方法を考える！」（もし少し違っていたら、ごめんなさい）これは、簡単なことではないと思います。「それは難しいですね」と断ってしまうほうが、本当は楽なのかもしれません。でも、どうしたらできるのかを一緒に考えて、なんとか方法を模索して、「難しい」と言うのではなく、「やってみよう！」としてくださる。そんなNONちゃん倶楽部、最高です！！昨日もたくさんの笑顔と、たくさんの「ありがとう」をありがとうございました。これからも、よろしくお願いします。



★渡辺 楓雅（身体・療育）君

この前の競輪場のイベントで挑戦したことがあります。それはトレーラーに乗ってみた事とラクラクーンで競輪場を一周周するという事です。

まず午前中に梅沢さんがつくってくれたトレーラーに乗ってみました。すごく心地が良く、この自転車をつくってくださった梅沢さんや協力してくださった伊賀上さんなどみんなの熱意がギュッと体の底から染み込んできて、「これは絶対しまなみも走りたい！！走ってみせる！」という新たな目標ややりたい事が発見できました。お昼からはラクラクーンに乗って競輪場を駆け抜けたいと思ったのでラクラクーンに乗せてもらいました。一歩ずつ一歩ずつ少しずつ進んで足を踏み締めてちょっと途中で疲れてしまいましたが、それでも諦めずになんとか1周達成！このラクラクーンに乗って競輪場を一周に挑戦して思ったことは「何か挑戦してみたい事があったらとりあえずやってみる」という事です。今回もやってみよう！という気持ちが前にでて諦めなかったから達成できた。そうやって人は成長していくんだなと感じました。新たな人生の教訓になったかなと思います。今回も本当にありがとうございました。夢に向かって少しずつ歩いてゆきます。





★久保大翔（身体自力歩行困難）君

朝から雨が降るかなと思いましたが、薫ちゃんの熱い想いが伝わったのか暑いくらい晴れました。最初にハンドサイクルに乗りました。久しぶりに乗ったので右の腕が筋肉痛になりました。でもいい風が吹いていたので気持ち良かったです。また、乗りたいと思います。その後、初めての2人のパイロットさんと乗りました。まず1人目は、浅井さんのパイロットで乗りましたとても息がぴったりで乗りやすかったしペダルがスムーズに回りました。また乗りたいと思います。その後2人目のパイロットは、りのちゃんのパパでした。とても自分としても安心していたので快適に乗れました。もう少し筋力をつけて乗りたいと思います。

その後お昼ご飯は、カレーライスを食べました。とても美味しかったです。

昼食の後は、少しポッチャをしました。みんなに注目をされ恥ずかしかったです。その後、競輪場にもどり、また浅井さんと自転車に乗りました。50分ほど走りました。とてもいい運動になりました。最後になりましたが、パイロット皆さんスタッフ皆さんボランティア皆さんいつも暑い中準備を本当にありがとうございます。次回のイベントも楽しみにしています。



★パイロット 曾我部 幸治さん

今日は雨予報の中NONちゃん倶楽部in競輪場に参加させてもらいました
普段、入ることができないバンクの中を颯爽とは言えませんが楽しく走らせていただきました。にしても、結局雨は降らずこんなにかき氷を美味しくいただくことになるとはほんとと恐るべしNONちゃんパワー！次はどんな楽しいイベントになるのやらほんと、楽しみです！



★松山市役所サイクリング部 パイロット 宮内忠明さん

競輪場で開催されています、「サイクルチャレンジ2026in競輪場」に、パイロット（前の漕ぎ手）兼雑務のボランティアさせてもらいました。TV各局や、ネットの天気予報は軒並み雨となっていましたが、イベントの準備から撤収まで、一滴の雨も降らず～代表の津賀さんや、参加された皆さんの想いが天に通じたのかイベントは参加者、スタッフ、ボランティアなど170人を少し越える賑やかな規模で、開会式の後、スタートとなりました。

昨年、競輪場の舗装をリニューアルしたそうで、路面からの振動もなく、後ろに乗せた参加者さんとの会話も弾みながら、タンデムで周回を重ねます。中には、以前から自分を覚えてくれてる参加者さんもおられ、ご指名されることもあり～そうです、ワタシは褒められたり、おだてられたりで頑張れるオジサンなんです(ガンバレ)そうこうしてる間に、昼食は恒例のカレー！参加者さんを連れて、一緒にモリモリ食べて、HP回復 昼からも、涼しい風に吹かれながら参加者さんと周回を重ね、気がつけば閉会式 これまた恒例の、参加者さんの面白いコメントで笑顔をもらい、自転車やパイプ椅子を片付けて、解散となりました。個人的にはこのボランティア、10年ぐらい皆勤なので、来年も頑張って参加したいです(ガンバレ)



★石川 智史（土佐市から体験参加）さん

当日は、朝早くから沢山の方が準備に携わってくださり、良く晴れ、心地よい風の吹く中で開催できたこと、改めてありがたく感謝だなと感じております。とても綺麗な競輪場のフィールド内で、1日愉しませていただきました。タンデム自転車も初めて乗り、一緒に乗る人との一体感がうれしかったです。パイロットの宮内さんから優しくお声がけいただき、家族皆お世話になり、一緒に乗車させていただきました。後ろに乗った時は、軽く目を閉じてみて自転車の揺れ、風が当たる感覚など一層感じられ、普段決してできない、良い体験をさせていただけたと思っております。私は海でのイベントに続き2回目ですが、また参加者の皆さんとお会いでき、皆がニコニコと笑顔いっぱいに愉しんでいる様子を観させていただけたことは嬉しかったです。誰もが生き生きと愉しむ、そのチャレンジの後押しサポートをされているご活動、改めて素晴らしいものだなと感じました。

参加させていただくに当たり、お心遣いいただきましたことに改めて感謝いたします。ありがとうございます。うちの子どもにとっては、うれしい自転車体験でもありました。また来年も行きたいと目を輝かせていました。ご縁に感謝いたします。今後どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。



★西岡愛里彩（身体・精神）ちゃん

2回目の競輪場でのイベント！今回は晴れて良かったなあ～と思いました！人工芝生が気持ちよかったです！高校生のデモンストレーション！迫力満点で！あまり見れる機会がないのでワクワクしながら見ました。今回も友だち達と話したり、今度何して遊ぶか決めたり、パイロットさん達とも色々話せました！競輪選手とタンデムに乗って、競輪のことについて話したりして知らないことがたくさんで、とても楽しく漕ぎながら話せました。久々のおじさんとも漕ぐことができました。そして、競輪選手の方と乗り、傾斜を体験！貴重な体験でした。コケるのではと思ったけど…安定してるのに、上から見たら斜め！トリックアートみたいに不思議な感覚でした。中のコーナでもポッチャなどに挑戦！みんなとするポッチャ楽しかったです！



★友人パイロット・山口真由美さん

今日はタンデム自転車NONちゃん倶楽部主催のサイクルチャレンジに岡ちゃんと参加！今回は初の競技用タンデム自転車に試乗させてもらい、見たことのない・感じたことのない感覚に感動でした。栗田競輪選手にらせていただいたのですが、栗田選手は肋骨7本骨折から復帰したばかりとか。

その前に骨盤骨折の怪我也有りしばらく寝たきりで、そこからの復帰は流石に大変だったとさざっと話しながらのタンデム。そんな話を聞いたら私の膝なんて、いわゆるへって感じそれから聖陵高校自転車部の学生さんともタンデムしましたが、彼はツール・ド・フランスを目指して入部したと！加藤君がんばれ！！今日も多くのボランティアの方にサポートしていただき、変わらない津賀パワーによる晴天の中感動の1日でした。



★久保田康介（身体・療育）君 母

広島から参加した久保田康介の母です。今回も素晴らしい体験をありがとうございました。2回目の競輪場、息子はもちろん家族全員で心から楽しませていただきました。息子が幼い頃、自転車の前かごシートに乗せて公園を走ると、とても喜んだ姿が忘れられず、「いつかまた自転車に乗せてやりたい」とずっと思っていました。木村さんとの出会いがNONちゃん倶楽部につながり、2年前の雨の競輪場でその夢を叶えることができました。そして2024年金砂湖では息子だけでなく、家族もタンデム自転車に乗って一緒に走り、2025年の瀬戸田では自転車だけでなく、カタマランで海へという想像もしなかった経験までできました。そして迎えた2026年の競輪場。わくわくしながら高機能三輪自転車のところへ行き、梅澤さんにご挨拶すると、「康介くんが参加すると聞いて急いで準備したよ」と嬉しいお言葉いただきました。早速、息子を座らせてみると、肩ベルト、股ベルト、ヘッドレスト、足置き台の全てがピッタリ！まるで自分の座位保持装置に座っているような安定感でした。息子は体幹機能が弱いため、姿勢保持が何より大切です。しかし、側弯があるため車イスの調整が容易ではないことを普段から見ているだけに、調整をしてくださる梅澤さんの技術と熱意には本当に感動しました。パイロットの公文さんは、優しい笑顔で息子に声をかけてくださり、息子は余裕すら感じさせる表情で何周も走りました。スピードが大好きな息子にとってタンデム自転車は何より楽しいスポーツなのだと思います。イベント中、「康介くん、楽しんでますか。大丈夫ですか？」と皆さんにたくさん声をかけていただきました。息子は発語がなく、以前は表情や声で気持ちを伝えていましたが、気管切開（喉頭気管分離）をし、声を出すことができなくなりました。今は表情や態度から息子の気持ちを汲み取り、それを言葉にして話しかけることでコミュニケーションをとっています。自転車に乗っているときの息子からは快適で満足そうな様子が伝わってきました。でも、ちょっとスピードを落としたり、止まったりすると、手を動かしてイライラ。普段、車に乗っているときも赤信号で止まっただけで、不満をあらわにするほど、見かけによらず!?かなりせっかちで激しい一面もあります。公文さんをお願いしてスピードをあげてもらい、何周も力強く走っていただきました。松山聖陵高校の皆さんにパイロットをお願いし、家族みんなで走ることもできました。息子と並走したり、追い越したりというのは、競輪場だからこそできる素晴らしい体験でした。また、伊賀上さんに声をかけていただいた娘はホンキの走りも体験できました。走ったあとの娘のスッキリとした表情がとても印象的でした。他の参加者の方のチャレンジには、いつも勇気をいただいています。障害がある人たちにとって気持ちや体調を整え、いつもとは違う場所で新しいことに挑戦するのは容易なことではありません。でも「やりたい！やる!!」と伝えたら、全力でサポートしてくださる皆さんがいる。息子が、NONちゃん倶楽部の力を借りてチャレンジし、成長する仲間の一人になったことが本当に嬉しいです。NONちゃん倶楽部のイベントに参加した帰り道はいつも、「最高だったね」と話しているのですが、今回も最高の日でした。参加するたびに最高がどんどん更新されている気がします。帰宅して風呂に入っているとき、「今日どうだった？」と聞いた時の息子の笑顔！一日を振り返り、噛みしめるようなあの最高の笑顔を皆さんにお見せできないのが本当に残念でなりません。改めて津賀さま、NONちゃん倶楽部の皆さま、ボランティアの皆さま、本当にありがとうございました。カレーライスも美味しかったです！また皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

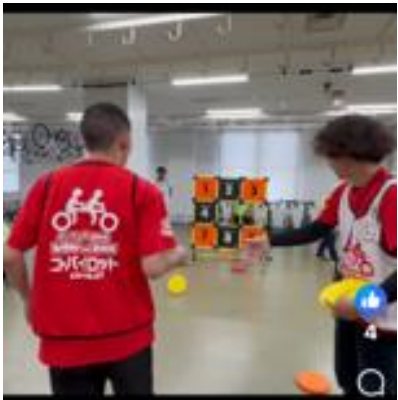


2013年

木村さんの紹介で
2024年に初めてNON
ちゃん倶楽部と出会
えて、息子の夢の扉
が開きました。
まさかこんな日が来
るなんて！！

★工藤竣晴（療育）君 母

昨日はサイクルチャレンジ開催していただき、本当にありがとうございました(ありがとう)
去年は競輪場の改修工事でイベントがお休みだったので2年ぶりの参加となりましたが、今回も最高に楽しい時間を過ごすことができました！普段はあまり運動が好きではない竣も、タンデム自転車だけは本当に大好きで、今回も40周以上気持ちよさそうに走り込んでいました。眠る直前まで「タンデム楽しかったね」と繰り返言っていたほどです。また、お名前を聞きそびれてしまったのですが、20周も一緒に走ってくださったボランティアさんがいらっしゃいました。走っている間も竣のお喋りにずっとお付き合いいただき、本当に感謝感謝です。お天気が少し心配でしたが、皆さんの想いが通じたのかちょうど良い気候に恵まれ、本当に良かったです。いつも素晴らしい機会をつくってくださる津賀さんをはじめ、サポートしてくださったボランティアの皆様心より感謝申し上げます。また次回も参加できるのを楽しみにしています



松下侑生（療育）君 母

侑生が中学生の頃から参加させていただいている、競輪場でのイベント。
普段はなかなか足を踏み入れることのない競輪場で、タンデム自転車に乗るという貴重な体験です。聖陵高校自転車競技部のみなさんによるデモンストレーションからスタート！その後は、プロの競輪選手の方々や、たくさんのパイロットさんにタンデム自転車に乗せていただき、競輪場のバンクを何十周も走行。風を感じながら、とっても楽しそうな侑生。競輪場ならではの傾斜も体験させてもらう予定でしたが……侑生、角度の浅いところで「やめてください」と。どうやらちょっぴり怖かったようです。その代わり、侑生父は現役競輪選手の方に連れて行っていただき、バンクの上まで体験してきました。そして今回、走行中の侑生の表情を360°カメラで撮影してみました📹見返してみると、そこには風を感じながら楽しんでいる、とってもいい表情が。本人がどんな時間を過ごしていたのかが伝わってくるようでした。たくさんのパイロットさんにお世話になり、たくさんの方とコミュニケーションをとることができた侑生。自転車を通して、またひとつ素敵な経験ができました。そして今回は、侑生父もボランティアスタッフとして参加。家族以外の方を乗せて走る「パイロット」に初挑戦させていただきました。視覚障害のある方や知的障害のある方とタンデム自転車を通して関わり、普段なかなか経験することのできない貴重な時間を過ごさせていただきました。侑生だけでなく、家族みんなに新しい経験と出会いをくださるNONちゃん倶楽部のみなさん。毎回、本当にありがとうございます。自転車でつながるご縁と、そこから広がるたくさんの経験に感謝です。

稲生さんいつもビデオ撮り
ありがとうございます！！
この報告書は野首さん指導の下薫初挑戦
大翔君にも手伝ってもらったよ





今日が誕生日の恒輔君



母のボランティアデビュー記念を娘と共に



ラクラクーンでバンク走行



勇気を出して伊藤豊明さんお願いします



COGYに挑戦！！



おじさんとバンク走行



不連動タンデムでGO！



ハンドサイクルでGO！



愛媛マラソン出場の夢
に向かってバンク50周
西岡英治さん
顔晴れ！！

人の輪の喜跡！！
善意集団知恵袋満載
やめられないやめられない！！



タンデム自転車NONちゃん倶楽部



認定NPO法人タンデム自転車NONちゃん倶楽部

〒790-0877 愛媛県松山市錦町2-2

TEL:090-3189-5918(津賀)・FAX:089-947-5676・MAIL:earth.worm@nifty.com

<https://nonchan.club>

